

平成22年度内閣府本府政策評価書(事後評価)

(内閣府22-70(政策17-施策①))

施策名	迎賓施設の適切な管理・運営 [政策17. 迎賓施設の適切な運営]							
施策の概要	日本の外交に資するため、迎賓施設において、海外の賓客に対し接遇を行うとともに、賓客が満足できる安全・快適な施設の提供など、円滑な接遇を行うための迎賓施設の管理・運営を行う。							
達成すべき目標	迎賓施設において、海外の賓客に対し接遇を行い、日本の外交に資するものとする。							
施策の予算額・執行額等	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)	—	784,840	853,411	901,213	887,000	836,111
		補正予算(b)	—	0	0	0	0	
		繰越し等(c)	—	0	0	0	0	
		合計(a+b+c)	—	784,840	853,411	901,213	887,000	
執行額(千円)	—	735,985	827,090	849,745				
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称		年月日		関係部分(抜粋)			
	特になし							

測定指標	迎賓館事務連絡会議の開催数(8月を除く毎月開催)	基準値	実績値				目標値
		20年度	20年度	21年度	22年度		—
		11回	11回	11回	11回		—
	年度ごとの目標値		毎月開催	毎月開催	毎月開催		
	利用(接遇)実績	基準値	実績値				目標値
		21年度	20年度	21年度	22年度		—
		年18回	15回	18回	19回		—
	年度ごとの目標値		10回	18回	年18回 赤坂9回、京都10回		
	賓客の安全対策に対応する適正な警備と秩序維持	基準	施策の進捗状況(実績)				目標
		20年度	20年度	21年度	22年度		—
		確実に実施	確実に実施	確実に実施	確実に実施		—
	年度ごとの目標		確実な実施	確実な実施	確実な実施		
一般参観者数	基準値	実績値				目標値	
	21年度	20年度	21年度	22年度		—	
	32,000人	10,000人	30,605人	32,000人		—	
年度ごとの目標値		10,000人	32,000人	一般参観者数 赤坂20,000人 京都12,000人			
参観者へのアンケート実施による評価(「満足した」、「ある程度満足した」とする評価の合計割合)	基準	実績値				目標	
	20年度	20年度	21年度	22年度		—	
	80%以上	87%以上	87%以上	92%以上		—	
年度ごとの目標		80%以上	80%以上	80%以上			

施策に関する評価結果	目標の達成状況	接遇実績については、目標回数を円滑かつ安全に実施するとともに、賓客からは接遇に対する感謝の意が表されており、高い評価をいただいているものと考えられ、賓客に満足してもらい我が国の外交に資する有効な施策の実施を行うことができた。また、一般参観において92%を超える方に満足いただける結果となっており、接遇に対する国民の理解を深めることができた。
	目標期間終了時点の総括	<p>【目標の達成状況の検証】</p> <p>迎賓館事務連絡会議を毎月(8月を除く)開催した。接遇については、19回(赤坂9回、京都10回)と計画の目標値以上の達成を得た。また、賓客の安全対策に対応した適切な警備を確実に実施し、いずれの接遇においても感謝の意を表されるなど高い評価をいただいているものと考えられ、賓客の満足を得ることができたことから目標の成果を達成できたと評価した。一般参観については、適切な実施により目標値である32,000人(赤坂20,000人、京都12,000人)の参観者を得た。また、参観者アンケートにおいて92%以上の方が満足したとの回答を得た。</p> <p>【行政事業レビュー等での指摘等】</p> <p>行政事業レビューにおいて、迎賓施設の役割、接遇について、国民の理解を深めるため、一般参観、前庭公開等適切に実施すべき。また、引き続き、ボランティアの活用により、コストの効率化を図るべきとの指摘。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>迎賓館の利活用については、引き続き促進に努める。また、国宝指定に伴い一般公開の更なる要請もあり、迎賓館赤坂離宮前庭公開を毎年実施して、一般参観の充実を努める。また、行政事業レビューでの指摘については、ボランティア説明員を増員し、迎賓施設の役割、接遇について、より一層国民の理解の深化に努め、コストの効率化を図る。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	京都迎賓館では、学識経験者、伝統文化関係者等を構成員とする「京都迎賓館運営懇談会」を設けており、運営全般について意見を聞いている。平成22年1月に開催した懇談会においては、「本当の温かい和のもとににじみ出るようなあり方に相違工夫をめぐらす必要がある」等の意見が出されたが、平成22年度の接遇時に、賓客の希望を伺った上で和室での布団を使用した休憩、和室での少人数会合の開催等、その意見を反映したところ。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	参観の満足度: アンケートの回答。
---------------------------	-------------------

担当部局名	迎賓館、大臣官房企画調整課国際室	作成責任者名	庶務課長 小西 良治	政策評価実施時期	平成23年9月
-------	------------------	--------	---------------	----------	---------